

東京工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	ReadingVI	
科目基礎情報							
科目番号	0117			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	『My Way: English Communication III』 (三省堂)						
担当教員	向山 大地						
到達目標							
1. 文法事項を理解し、正確な読解を目指す。 2. 日本語と英語の違いを考え、できるだけ自然な日本語訳を目指す。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	教科書の各章の文法ポイントを十分に理解し説明できる。		教科書の各章の文法ポイントを理解できる。		教科書の各章の文法ポイントを理解できる。		教科書の各章の文法ポイントを理解できない
評価項目2	辞書無しである程度の長さの入門的な英語の文章を毎分150語の速度で読める。		辞書無しである程度の長さの入門的な英語の文章を毎分100語の速度で読める。		辞書無しで入門的な英語の文章を毎分80語の速度で読める。		辞書無しで入門的な英語の文章を読む速度が毎分80語に満たない。
評価項目3	授業内で示された課題を近隣の学生達と討議し、結論を導き出せる。		授業内で示された課題を近隣の学生達と討議できる。		授業内で示された課題を最低限近隣の学生達と討議できる。(課題をある程度理解できる。)		授業内で示された課題を近隣の学生達と討議できない。(課題を十分に理解できない。)
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	教科書を使って一斉授業を行う。辞書を使い単語→句→節へと理解してゆくボトムアップ的な読み方(精読)を学ぶ。読解に必要な文法事項をその都度確認し、正確に読めるようになることを目指す。						
授業の進め方・方法	順次教科書を進めていく。 読解に必要な文法事項は板書するので、しっかりとメモをとること。 適宜、授業の冒頭に単語テストや復習テストを行う。						
注意点	・教科書、参考書、辞書、ノート、ハンドアウトを管理するバインダー等は毎回持参すること。 ・本科目の成績は定期試験の成績のみならず、予習・復習等の自学自習の実施状況も考慮して判断される。したがって自学自習の習慣を身につけることが必要である。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Unit2 Lesson 1: Narrow Boats in Britain			列挙を示すディスコースマーカーに注目して読解できる。	
		2週	Unit2 Lesson 2: A Miraculous Pianist			順序を示すディスコースマーカーに注目して読解できる。	
		3週	Unit2 Lesson 3: iPS Cells			原因・結果を示すディスコースマーカーに注目して読解できる。	
		4週	Unit2 Lesson 4: Roman Baths			スキャンニングの技術を活用して必要な情報を素早く探すことができる。	
		5週	Unit2 Lesson 5: The Leap Week Calendar			例示を示すディスコースマーカーに注目して読解できる。	
		6週	Unit2 Lesson 6: Digital Books vs. Printed Books			比較・対照を示すディスコースマーカーに注目して読解できる。	
		7週	Unit2 Lesson 1-6: 復習			ここまで学習した語句、文法事項を理解し、説明することができる。	
		8週	中間試験			中間試験	
	4thQ	9週	Unit2 Lesson 7: Buckwheat around the world			比較・対照を示すディスコースマーカーに注目して読解できる。	
		10週	Unit2 Lesson 8: A Message from Small Creatures			原因・結果を示すディスコースマーカーに注目して読解できる。	
		11週	Unit3 Lesson 9: Aung San Suu Kyi			前期の授業で習得したReading Skillを活用して読解し、論理的な構成をつかむことができる。	
		12週	Unit3 Lesson 9: Aung San Suu Kyi Unit3 Lesson 10: The Wonders of Memory			前期の授業で習得したReading Skillを活用して読解し、論理的な構成をつかむことができる。	
		13週	Unit3 Lesson 10: The Wonders of Memory Unit3 Lesson 11: The Voting Age in Japan			前期の授業で習得したReading Skillを活用して読解し、論理的な構成をつかむことができる。	
		14週	Unit3 Lesson 11: The Voting Age in Japan Unit3 Lesson 12 A Moment Makes a Great Difference			前期の授業で習得したReading Skillを活用して読解し、論理的な構成をつかむことができる。	
		15週	Unit3 Lesson 12 A Moment Makes a Great Difference			前期の授業で習得したReading Skillを活用して読解し、論理的な構成をつかむことができる。	
		16週	期末試験			期末試験	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語量の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	

評価割合							
	試験	小テスト	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100
基礎的能力	70	20	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0